

(6) 安心して人にやさしいまちづくり計画

現状・課題

現状

- ・ 辻堂駅西口改札周辺は、ホームや通路が狭い。
- ・ 駅や跨線橋にエレベーターやエスカレータが設置されていない。
- ・ 市民が集まって活動できる場所が不足している。
- ・ 階段や歩道の段差などの高齢者にとって危険な箇所がある。
- ・ 降雨による水害が発生する箇所がある。

課題

- ・ 駅施設の利便性の向上

駅や跨線橋などにおいては、安全で快適に利用できるように施設を改善する必要がある。

- ・ 地区のコミュニティ施設整備

交通利便性の高い辻堂駅周辺において、市民が集まって活動できる場所の整備を検討する。

- ・ 道路、公共施設の安全性の確保

跨線橋などの施設における階段や歩道の段差などを解消する必要がある。

- ・ 水害への対応

水害の解消のため、下水道の整備が必要である。

基本的な考え方

| | |
|------------------|---|
| バリアフリー化の推進 | 辻堂駅の施設改善にあたっては、ホームの拡幅やスロープ、エレベーターなどを設置する。 |
| 施設運営の見直し | 多くの人々が利用できる新たな施設の設置や既存施設の運営を検討する。 |
| アクセスにおける利便性の向上 | 利用者が施設にアクセスするための道路などの利便性を向上させる。 |
| 安心して暮らせるまちづくりの推進 | 災害や犯罪を減少させるための様々な取り組みについて、市民参加も取り入れながら推進する。 |

安心して人にやさしいまちづくり施策

ア.西口跨線橋の再整備

跨線橋の再整備にあたっては、幅員の広い通路を確保し、エレベーターの設置を検討するなどにより、利便性の向上を図る。

イ.公共公益施設の整備拡充

市民窓口センターの利便性の向上と、市民が集まり交流する場づくりを目的とした地域集会施設や文化・教育施設、少子・高齢化等に対応した公共公益施設の整備を駅周辺部の再整備にあわせて検討する。

既存施設やカントク跡地に新たに設置される施設も含めて、茅ヶ崎市民及び藤沢市民が有効に活用できるような施設運営を行う。

ウ.雨水幹線の早期整備

浜竹雨水幹線の整備を早急に行う。

エ.防犯まちづくりの取り組み

安全な市街地の形成のため、防犯灯の設置などに取り組む。また、市民の主体的な取り組みによるまちの安全点検や防犯パトロールなどの活動を推進する。

オ.バリアフリー化の推進

高齢者及び障害者も不自由なく利用できるように、多くの人が利用する施設において、バリアフリー化を積極的に推進する。

また、施設への安全なアクセスを確保するために、周辺道路における段差の解消や電線類の地中化などを推進する。

カ.駅施設の改善

駅施設において、ホームや通路の拡幅及びエレベーターなどの人にやさしい施設づくりを行う。

主な事業

西口跨線橋の再整備<再掲>

地域集会施設の整備及び市民窓口センター等の機能拡充

浜竹雨水幹線の早期整備

防犯灯の設置及び防犯パトロール等の推進

公共公益施設等におけるバリアフリー化の推進

駅周辺地区における道路の段差解消及び一部電線類の地中化の推進

駅ホーム及び通路の拡幅の整備推進

エレベーターの設置等バリアフリー化の整備推進

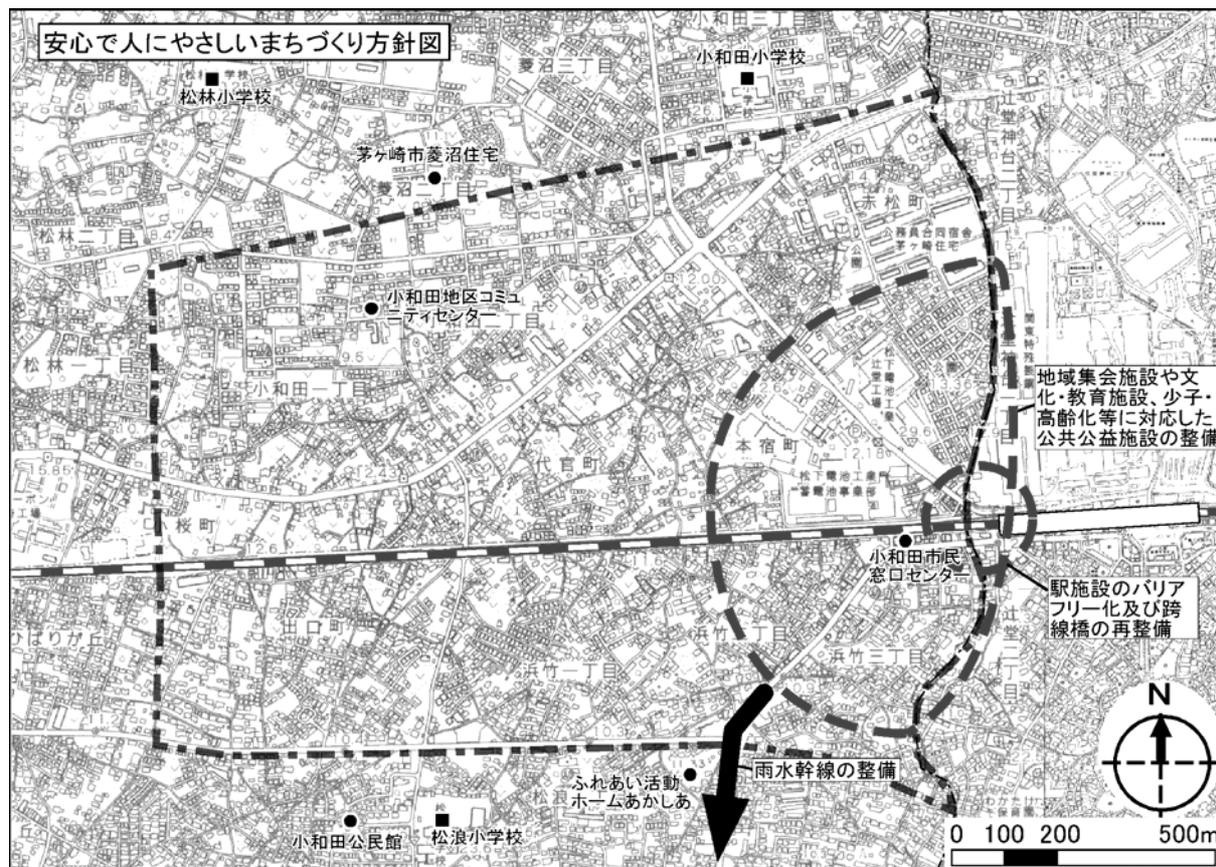


図 4.7 安心して人にやさしいまちづくり方針図

